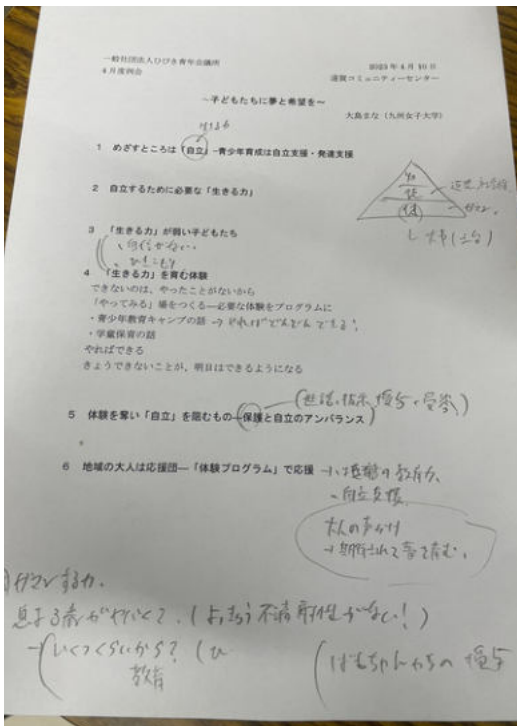




4月度例会



4月10日に遠賀コミュニティーセンターで青少年育成委員会の設営により4月度例会が開催されました。

講師として九州女子大学の教授をされております大島まなさんに来ていただき、「子供たちに夢と希望を」をテーマに講演していただきました。

近年、子供たちの自立について取り沙汰されている中でまず土台となる体力（体）も減少傾向にあることが問題とされ、私たち大人がお手本となり、子供たちに体験する機会を与え、やればできるという自信を持ってもらい自立に繋げていく必要があることを深く感じる講演となる例会でした。

JCI福岡70周年記念式典



4月11日にJCI福岡70周年記念式典がおこなわれ、ひびき青年会議所からも福岡ブロックの仲間のお祝いに参加させていただきました。

式典は、福岡県護国神社で執り行われ県内外問わず県外や海外からも多くのJCメンバーが参列しておりました。

祝賀会はホテルニューオータニ博多で行われ700名ものメンバーが集まり、そちらも盛大に盛り上がりを見せていました。

福岡でも有数のビッグLOMだけあり、私たちひびき青年会議所もいい刺激となる1日でした。

式典の前には、大濠公園能楽堂にて高島市長、角田市長、麻生会頭の3名が～JCIから地域のリーダーを輩出する意義～をテーマに鼎談され、若いからこそできる今を熱く生き、将来のためにやるべきことをする礎を築く、会場が熱気に包まれるそんな対談でした。



高島 宗一郎 様 / 現福岡市長（福岡県）
元九州朝日放送アナウンサー
SOICHIRO TAKASHIMA

生年月日 1974年11月1日（年齢48歳） **出身地** 大分県大分市

経歴 獨協大学法学部を卒業後、KBC九州朝日放送に入社。
10年の福岡市長選挙に出馬し、福岡市長としては史上最年少の36歳で当選。

14年、18年、22年の市長選にいずれも史上最多得票で再選。現在4期目を務められています。12年のスタートアップ都市宣言以降、国家戦略特区の規制緩和や独自のスタートアップ支援で、福岡市を開業率日本一に導かれています。また、規制緩和でビルの建て替えを誘導する天神ビッグバンを進め、地価上昇率が日本一になったほか、年収伸び率、人口増加率などのあらゆる指標も日本一となっています。

日本の市長として初めて世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）にも出席され、デジタル臨時行政調査会、行政改革推進会議など、国の重要な会議のメンバーも務められておられます。



角田 悠紀 様 / 現高岡市長（富山県）
高岡青年会議所OB
YUKI KAKUDA

生年月日 1982年10月30日（年齢40歳） **出身地** 富山県高岡市

経歴 立命館大学法学部卒。05年に富山テレビ放送に入社し、報道記者、東京支社勤務を経て16年に退社。17年の高岡市議選で初当選し、01年には高岡青年会議所に所属しながら、市長選に見事当選。

富山県の高岡青年会議所に所属し、現役中の21年、実行力をもたらずSDGs推進委員会の委員長を務めながら高岡市長選に出馬し、みごと当選されました。現在は高岡青年会議所を卒業し、高岡を前へ「持続可能な未来都市 高岡」をスローガンに、現高岡市長としてまちの為に尽力されています。



麻生 将豊 君 / 第72代日本JC会頭
麻生商事株式会社 代表取締役社長
MASAHIRO ASO

生年月日 1984年12月29日（年齢38歳） **出身地** 福岡県飯塚市

経歴 慶應義塾大学卒業後、ITベンチャーの運営に携わり、12年にトヨタ自動車九州に勤務。14年に麻生商事へ入社。18年6月から麻生商事の代表取締役社長に就任。23年、第72代日本青年会議所会頭に就任。

18年より麻生商事株式会社の代表取締役社長を務められており、20年には第67代飯塚青年会議所の理事長に選任され、本年度は第72代日本青年会議所会頭でいらっしゃいます。「世界に冠たる日本を取り戻す」という信念のもと、夢溢れる未来を描き、JCを牽引してくださっています。



JCI公認プログラム

4月18日に中間ハーモニーホールにてJCI日本公認プログラム「スピーチ」を受講しました。

講師に栃木からトレーナーの大阿久先輩に来ていただきまして、スピーチについてわかりやすく教えていただきました。

内容については機密事項のため詳細は記載できませんが、スピーチの大事な要素についてのワークを実践し、今後の大きな糧になることが期待できる素晴らしい内容でした！



第1エリア野球大会 in豊前

4月22日に豊前の地で第1エリア野球大会が開会されました。

今年度は、野球経験者の若い世代も多く参加し、練習の時から全力を出し、県大会出場を目標に頑張ってきました！





初戦は、豊前青年会議所との試合で序盤は辻理事長のピッチングがさえわたりいい試合展開となりました。皆も練習の成果がでて未経験のメンバーも頑張り見事に勝利を収めました！

決勝戦は、北九州青年会議所との対決で、序盤から苦しい展開となりましたが、監督の梅田第3室長がメンバーを盛り上げていきメンバーも全力で立ち向かいましたが、惜しくも後一步のところで敗れてしまいました。ですが終盤、竹内副理事長のソロホームランがでるなどとても盛り上がる試合となりました。

ちなみに今年度ひびき青年会議所のMVPは、決勝終盤にナイスピッチングとソロホームランを打った竹内副理事長に決まりました！

日本青年会議所 組織グループ JC教育推進委員会



今回、日本青年会議所に出向している今住君と、盛田君が、神奈川県海老名で「成長の機会」について全国のJCメンバーにむけ、4回目となる委員会を行ってきました。

サマーコンファレンスにて開催されるマインドマッピングのプログラムも受講致しました。

また、JCI海老名のシニアの先輩から酒蔵に招待され日本酒を堪能させていただきました。

JCI海老名シニアクラブの先輩方には感謝しております。



竹口 駿平君 二村 勇希君

新入会員紹介

4月度理事会にて竹口君と二村君の2名が新たに入会しました！

2名ともまだ20代でひびき青年会議所も20代がまた増え、若い世代が勢いを着々とつけていっております。

5月度活動 スケジュール

- 8日 ……予算・議案会議
- 10～13日 ……ASPACジャカルタ
- 15日 ……常任理事会
- 16日 ……福岡ブロック
会頭表敬訪問in糟屋
- 18日 ……4月度例会
- 21日 ……福岡ブロックアカデミー事業
- 23日 ……防災井戸贈呈式 岡垣
- 24日 ……ひびきジャガイモゴルフコンペ
- 25日 ……理事会
- 27日 ……福岡ブロック大会 柳川
- 29日 ……第1エリア会議inひびき
- 30日 ……会員会議所会議



雑学メモ

鼎談（ていだん）

「鼎」は「かなえ」とも読み、足が三つある形をしている金属の器です。そのことから、「鼎談（ていだん）」は、3人の人が語り合うことを意味します。鼎はもともと調理用でしたが、神へのささげ物を煮るために祭事でも使われ、権威を象徴するものとなりました。

3人の場合のみ鼎談が使われ、逆に4人以上からは何という言葉があるわけでもなく、その場所などに応じ「会談」「懇談」「座談」など複数のイメージでのとらえ方になります。